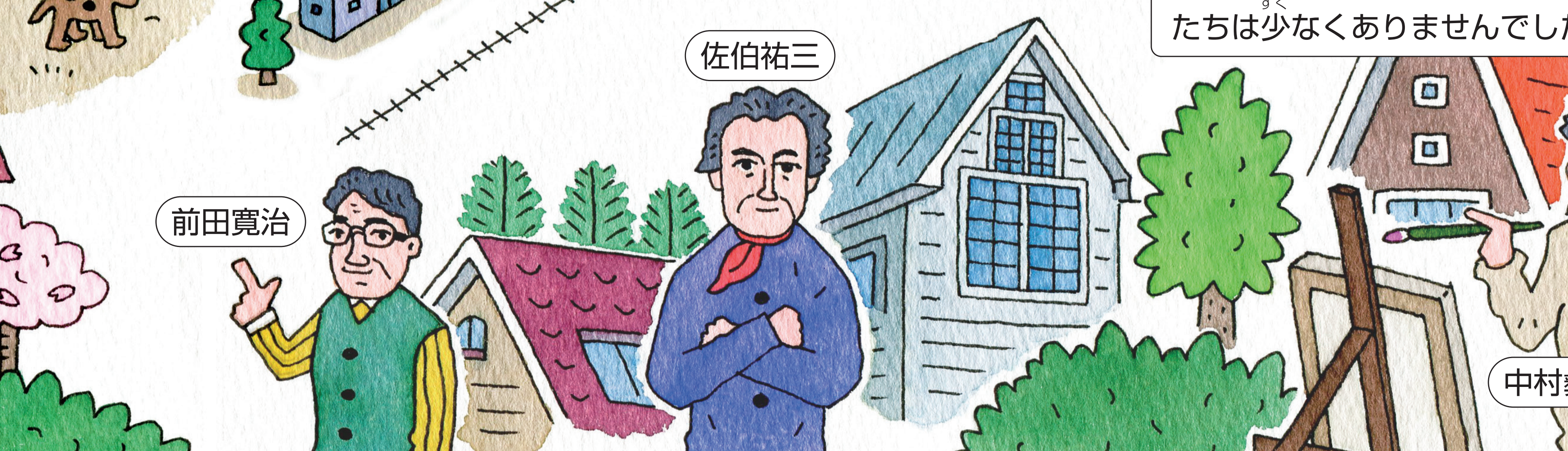
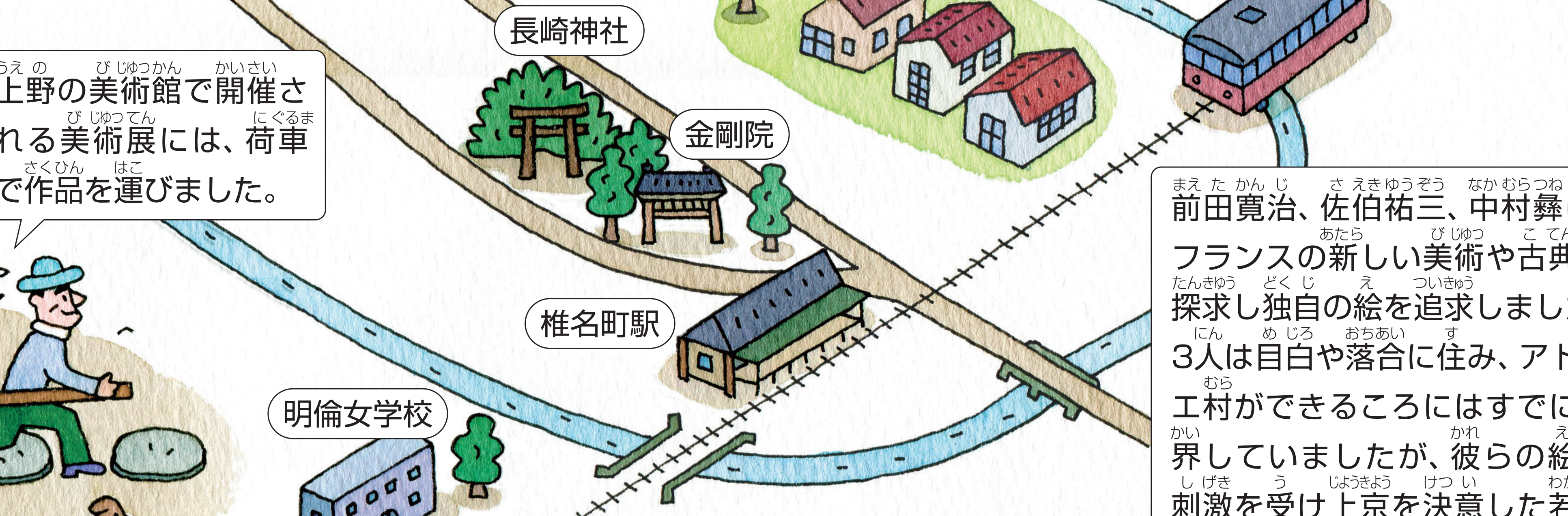
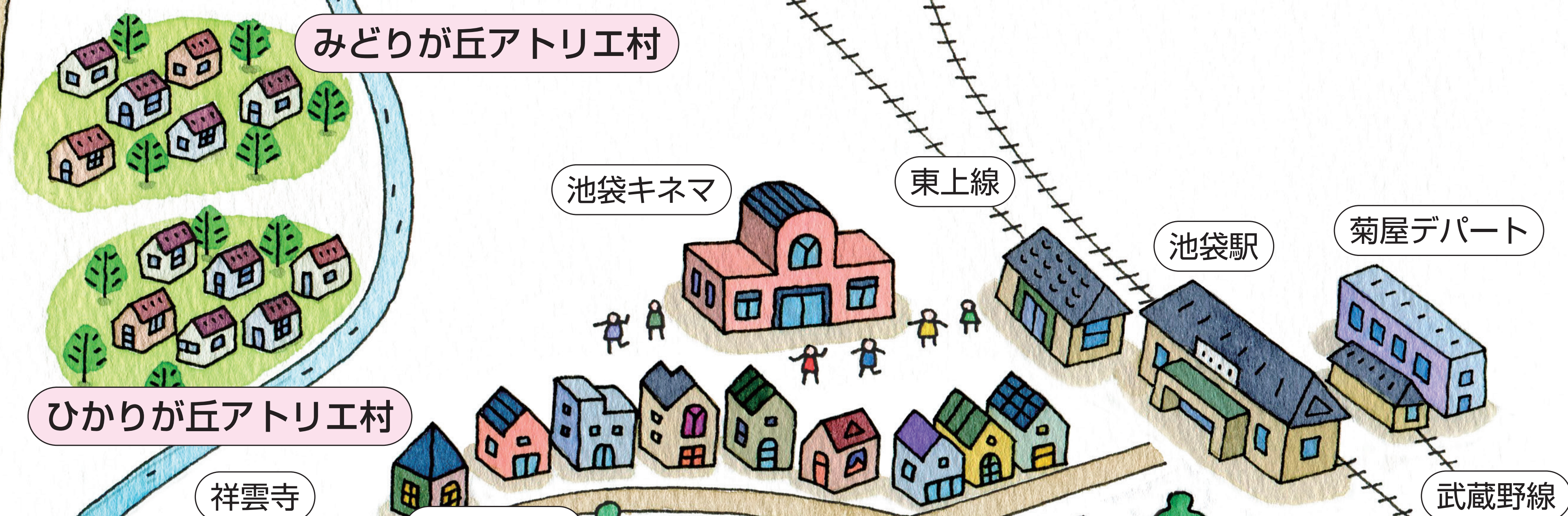
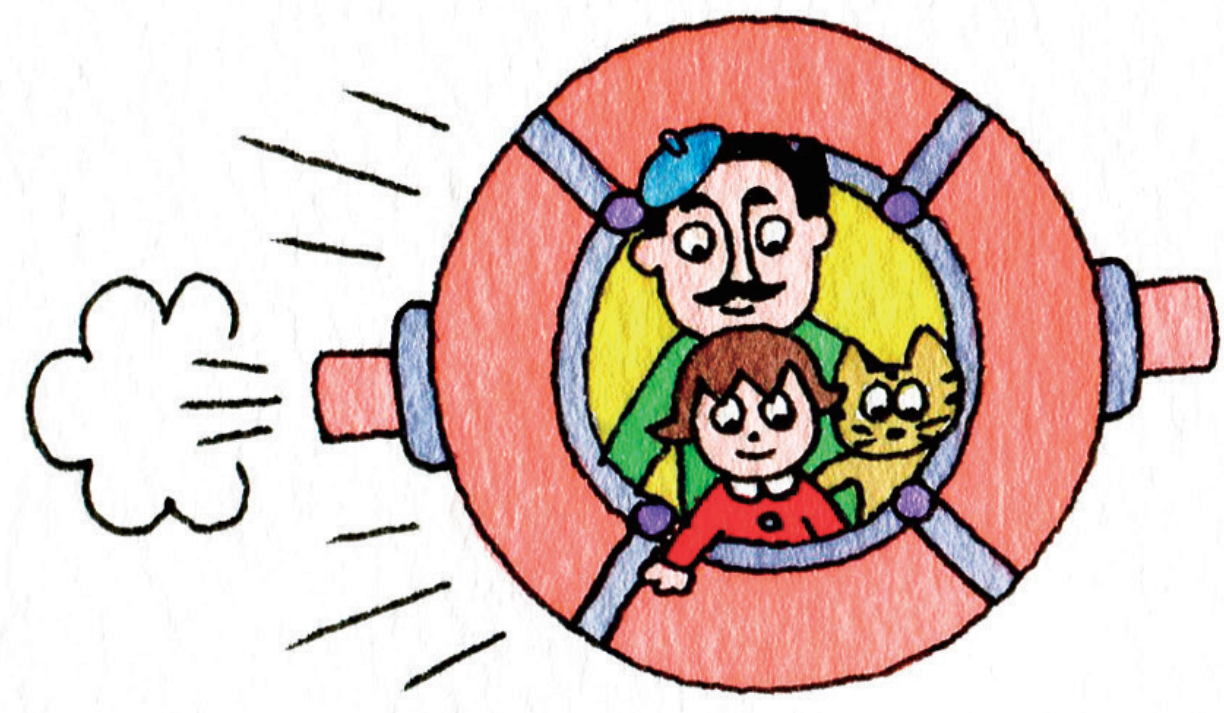


# いけぶくろ 池袋モンパルナス

日本の各地からやってきた芸術をめざす若い人々や美術学校の学生たちが、池袋モンパルナスに集まりました。彼らは何人かでモデルをたのんだり、時には食事を共にし、助け合いながら生活し、創作に励みました。



熊谷守一は、若い芸術家たちの大先輩にあたる存在でした。自宅跡は豊島区立熊谷守一美術館になっています。

大きな絵を出すための扉がっていました。

北側の屋根や壁には、採光のための大きな窓がっていました。

上野の美術館で開催される美術展には、荷車で作品を運びました。

前田寛治、佐伯祐三、中村彝は、フランスの新しい美術や古典を探究し独自の絵を追求しました。3人は目白や落合に住み、アトリエ村ができるころにはすでに他界していましたが、彼らの絵に刺激を受け上京を決意した若者たちは少なくありませんでした。

前田寛治

佐伯祐三

中村彝